

みんなで語ろう 環境とまちづくり

みず・みどり・みち

平成 18 年 1 月 15 日 アクロス福岡 国際会議室

はかた夢松原の会が誕生して、20 周年を迎えます。

前半の 10 年は、植樹を中心にした運動と共に生命の源である

水・川・森・海などの環境問題を提起した、活動を展開してまいりました。

後半の 10 年は、松原運動の環境問題も都市・道といったテーマへと少しずつ

変り、地域を越え、県境を越え、国のボーダーラインさえも越えた

「学習・交流・実践」が要求されています。

松原運動も松苗の成長と共に、大きく成長しています。松原運動の基本は

「水と緑と街づくり」をキーワードにした取り組みです。

「夢松原の会」の活動報告を兼ねて

「夢松原の会の 20 年のあゆみ」を 川口和子 理事が発表

「環境実践大学」の報告を 宮島寛 理事が発表

「学生と市民活動」の報告を 後藤孝行 元学生フォーラム代表が発表

「川と連携」の報告を 坂井圭子 あまぎ木こりの会 委員が発表

基調講演「これからの環境とまちづくりへの提言・NPO への期待と可能性」

神野健二 九州大学大学院工学研究環境システム科学研究センター 教授

パネルディスカッション

コーディネーター

江頭和彦 理事

パネリスト

島谷幸宏 九州大学大学院工学部環境都市部門 教授

樗木 武 (財)福岡アジア都市研究所 理事長

矢幡 久 九州大学熱帯農学研究センター長 教授

松尾公志 唐津市総合政策部 副部長

川口道子 NPO はかた夢松原の会 理事長

による、「これからの環境とまちづくり」について

現実的、建設的、情熱的、進歩的な発言が相次ぎ、会場もパネリストの

活動の幅の広さ、視野の大きさに時間の経つのも忘れ、話に聞き入りました。